行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	辺地対策道路整備事業	担当課	建設課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり
	政策	便利な生活のための都市基盤の整備
	施策	道路の整備
関連する個別計画等		根拠条例等：道路法

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	山間部に位置する上今井地区の道路等を基盤整備することにより、住民の利便性向上、及び負担の軽減が図られる。
事業の手段	辺地対策に基づき、道路整備を行う。
事業の対象	地域住民

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	14,966	16,694	29,997
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）	14,966	16,694	29,997
	一般財源			
B 担当職員数（職員 E）	（人）	0.11	0.11	0.32
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	715	748	2,149
D 総事業費(A+C)	（千円）	15,681	17,442	32,146
主な事業費用の説明	市道（穂坂）3 号線道路改良工事、市道（穂坂）101 号線道路詳細設計業務委託（H27）			

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	工事、委託計画件数	工事、委託予定件数（件） （上段：穂坂３号線、下段：穂坂 101 号線）	2	1	1 1
	2	工事、委託実施件数	工事、委託実施件数（件） （上段：穂坂３号線、下段：穂坂 101 号線）	2	1	1 1
	3	工事、委託実施延長	穂坂３号線工事実施延長（m） 穂坂 101 号線委託実施延長（m）	57	93	71 429

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	道路改良工事を行うことにより、山間地域の住民の利便性が向上する。
	2	
	3	

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	実施率（%）	工事、委託実施件数／工事、委託予定件数	100	100	100
	2					
	3					

成 果		□ A 上がっている ■ B ほぼ上がっている □ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	山間地域住民の通行時の利便性が向上している。
	2	
	3	

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成 ■ B 期待どおりに達成 □ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） □ 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） 本年度、市道（穂坂）101 号線の道路改良工事を進める中で、綿密な計画をたて効率的な整備を目指す。
過去の改善経過	
課長所見	山間地域の利便性向上のため、効率的な整備を行い早期完了に努めていくこと。